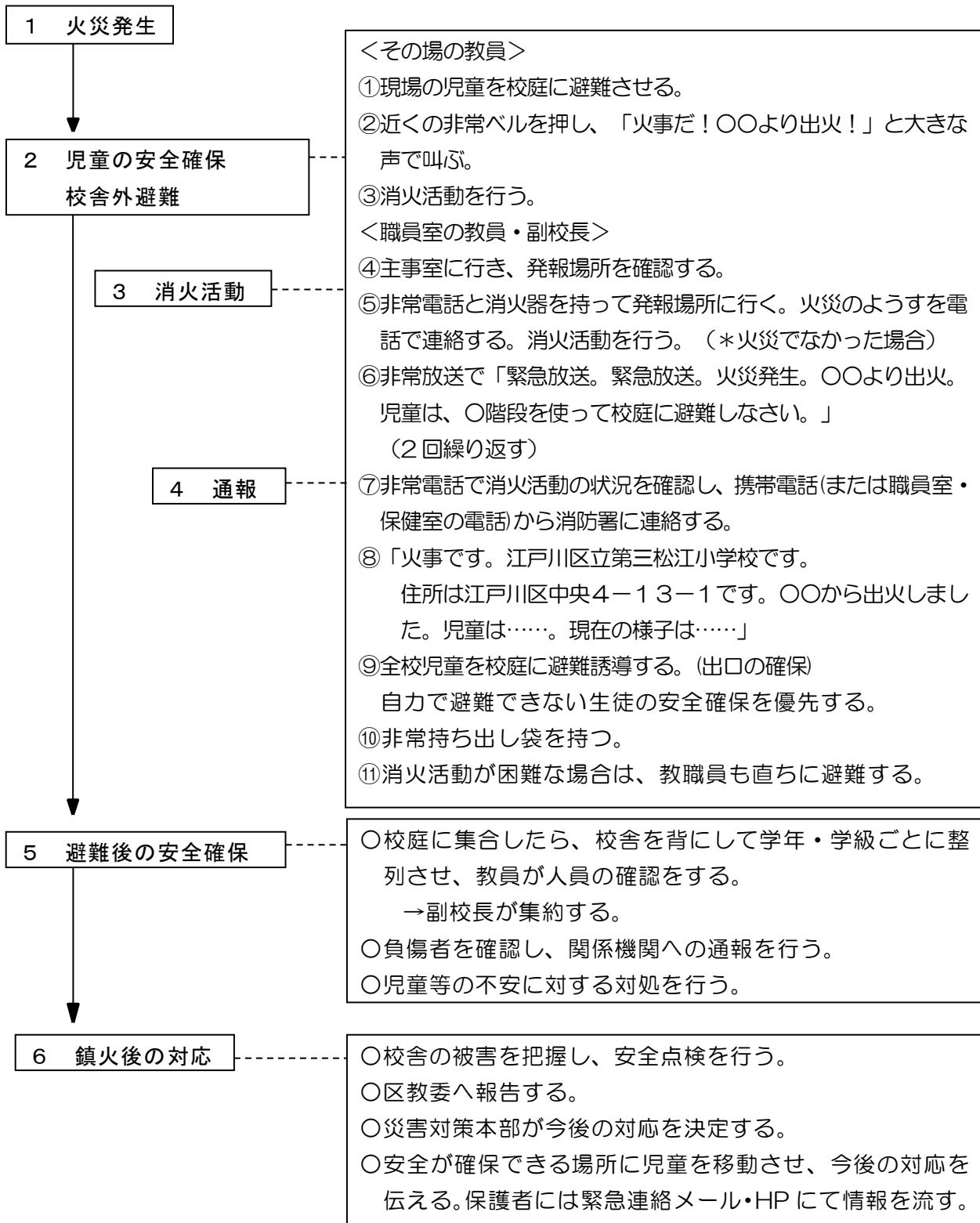


B 火災対応マニュアル

火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、職員室内の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

■授業中（教員が指導している時）… 教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- （1）緊急放送をしっかりと聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- （2）「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- （3）児童を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- （1）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。

3. 人員確認

- （1）校舎を背にして（火を見せない）、クラスごとに出席番号順に並ばせる。
* 少人数指導の場合もクラスごとに並ばせる。
- （2）担任が、児童の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。
- （3）担任は、確認票に不在児童の数と名前を書いて副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり（〇〇が不明）」
* 「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。（欠席・早退・遅刻・公欠を含む）
<避難完了>
- （4）担任がクラスにつく。

■休み時間等（教員が指導していない時）… 児童は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- （1）緊急放送をしっかりと聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- （2）近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉を閉め、電気を消す。

2. 避難中

- （1）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

3. 人員確認

- （1）校舎を背にして、クラスごとに並び。
- （2）教員の指示に従って、待機する。